

子宮頸がん検診 HPV自己採取キットの使い方

TimeToCervicalScreen.nz

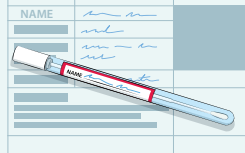
安全

正確



National
Cervical
Screening
Programme

本ガイドでは膣壁細胞の自己採取の方法をご説明します。ご不明な点や採取時の問題については、かかりつけの医療従事者にお問い合わせください。



自己採取を選択した方へ配布される自己採取キットには、詳しい取り扱い説明が記載されています。ご不明な点や採取時の問題については、かかりつけの医療従事者にお問い合わせください。

ラベルと用紙に記載された個人情報正しいかどうかを確認し、未記入の事項があれば追記してください。自己採取の実施日などの記入が必要な場合もあります。

うまくできなかった場合は？

自己採取は簡単な検診方法ですが、その検出精度は医療従事者が細胞を採取する場合と変わりなく、失敗する可能性もほとんどありません。

以下のような場合でも自己採取を続行できます。

- 綿棒の先を指で触った（できるだけ触らないようにしてください）。
- 膣に挿入した綿棒が十分奥まで達しているかわからない。

綿棒を床に落としてしまった場合、かかりつけの医療従事者に交換してもらってください。



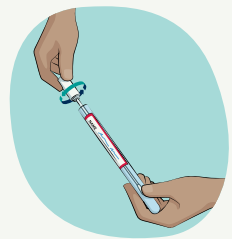
ステップ1

石鹸と水で手を洗い、しっかりと乾燥させてください。



ステップ2

個室で自己採取を行います。自分にとってやり易い体勢（座る・立つ・横になる・かがむ）を見つけてみましょう。体勢が決まらない場合は、医療従事者に手助けしてもらうこともできます。

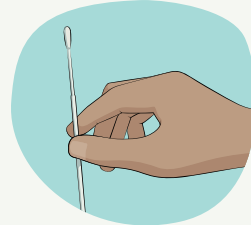


ステップ3

袋から綿棒の入った試験管を出して、綿棒を取り出します。その際、キャップを持ってひねり、封印シールを剥がす必要があるかもしれません。

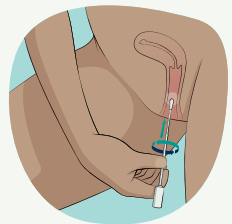
綿棒の先が指や物の表面に触れないようご注意ください。

ステップ4



綿棒の真ん中あたりを持ったら、もう一方の手で膣を開き、綿棒の先端をゆっくりと4~5cmくらい（親指の長さを目安に）タンポンを挿入する時と同じように挿入します。

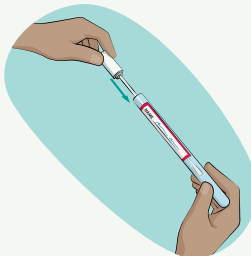
通常、挿入が困難であったり不快感を感じたりすることはありませんが、痛みがあったら、楽になるまで綿棒を引き戻すか、医療従事者の助けを借りましょう。



ステップ5

綿棒で膣壁にそっと触れ、4回ほど（約20秒間）回転させてから取り出します。

ステップ6



細胞を採取したら、綿棒の取扱いについて説明書でご確認ください。

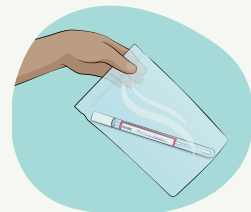
試験管のキャップはしっかりと締めてください。



ステップ7

不要品はゴミ箱に捨て、石鹸と水で手を洗ってからしっかりと乾燥させてください。

ステップ8



採取した検体と用紙を袋に戻して密封し、かかりつけの医療従事者へ提出します。

TimeToCervicalScreen.nz



Health New Zealand
Te Whatu Ora



本ガイドで説明している自己採取キットの綿棒と、かかりつけの医療従事者が使用する綿棒は異なる場合があります。

HEI1347 March 2024 - JAPANESE